

様式第3号(第7条関係)

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成30年度第2回水戸市協働推進委員会
- 2 開催日時 平成31年3月4日(月) 午後1時30分から午後4時30分まで
- 3 開催場所 水戸市役所市民協働会議室こみっとルーム
- 4 出席した者の氏名
- (1) 委員 金本 節子, 大野 覚, 片山 昭男, 大竹 隆志, 鹿倉 よし江,
石川 浩之, 前田 拓哉, 井上 綾子, 羽石 英司
- (2) 執行機関 【市民生活課】 課長 小川 邦明
副参事兼課長補佐 海老澤 守
市民活動・消費生活係長 吉田 友洋, 主事 宮窪 千恵
協働係長 橋崎 真哉,
【防災・危機管理課】 防災係長 ト部 英俊
【障害福祉課】 給付係長 井原 真彌
【高齢福祉課】 地域支援センター所長 土屋 勝
【農政課】 課長補佐 後藤 俊之, 企画係長 長谷川 修
ふるさと農業センター所長 長谷川 祐紀
【農業技術センター】 技術係長 山室 大輔, 荒川 奈穂美
- (3) その他 国田歴史学習会
特定非営利活動法人発達支援グループ風の子
茨城県ケアマネジャー協会水戸地区会
特定非営利活動法人エコ・グリーンいばらき
森っこ
茨城総合物産音楽フェスティバル2019実行委員会
- 5 議題及び公開・非公開の別 水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」に係る平成
31年度提案事業の公開プレゼンテーション(公開)
全体審議(非公開)
- 6 非公開の理由 (全体審議)
① 公にすることにより, 当該団体の権利, 競争上の地位その他
正当な利益を害するおそれがあるため。

- ② 公にすることにより，率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ又は不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあるため。

7 傍聴人の数(公開した場合に限る。) 1人

8 会議資料の名称 平成31年度提案事業の概要

9 発言の内容

【公開プレゼンテーション】

委員長	<p>ただ今から，平成31年度水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」の公開プレゼンテーションを始める。提案のあった6事業について，提案団体と市担当課から，事業の概要，協働による効果，役割などについて発表していただく。</p>
提案団体 市民生活課	<p>【発表：国田地区の名所・史跡探訪を通した魅力再発見プロジェクト】</p>
委員	<p>看板については，立派に仕上がっており，公共性もあり良いと感じた。事業本来の目的である郷土の歴史を盛り上げ，希薄化しつつあるコミュニティの活性化に寄与するという趣旨を踏まえて，このような活動を続けていただけたらありがたいと感じた。1年間事業を実施してみて，どのような広がりが見られたかお聞きしたい。</p>
提案団体	<p>昨日，講演会を実施した中で，参加者から名所・史跡箇所を周ってみたいが，案内図がなく分かりづらいというものがあった。地域の中でも，話には聞いているがどこへ行けばよいかわからないという声も聴く。案内図の作成など，そうした要望に応えられるような取り組みも今後実施していきたい。</p>
委員	<p>私自身，昨日の講演会に参加させていただき，素晴らしい内容だと感心した。講演会の後，実際に周ってみたが，分かりづらかったので，やはり案内図があるとよいと感じた。提案書に記載のある「八景／十九景」の詳細を教えてください。</p>
提案団体	<p>名所・史跡には一般的に八景と言われている中で，当初は八箇所選定しようとしたが，それでは足りずに十九箇所になったところである。全箇所に案内板を設置したときに，案内図をつくる予定だったが，先ほどのご要望のとおり，途中の段階でも，何かしら案内図をつくらなければいけないと感じたところである。</p>

<p>提案団体 防災・危機管 理課 障害福祉課</p>	<p>〔発表：要配慮者のための災害時避難訓練 茨城県水戸市モデル〕</p>
<p>委員</p>	<p>2点伺いたい。今回の事業を「モデル化」とするためには、取組内容や成果を何かしら外に向けて発信をしたり報告したりが必要と感じるが、何か工夫している点があるのか伺いたい。2点目として、収支計画書中、事務費とは具体的に何を指しているのか。また、ボランティアへの人件費とあるが、それは、構成員に対するものなのか伺いたい。</p>
<p>提案団体</p>	<p>4年間やってきたが、なかなか広がらないと感じており、どうしたら発信できるかは我々も考えてきたところである。今回は、わくわくプロジェクトに参加し、市役所新庁舎で避難訓練を2回実施していくこととした。1回目は関係者での実施とするが、2回目はSNSなどを使い、多くの人を巻き込みながら実施したいと考えている。事務費については、郵送に係るもののほか、今後、民生委員や地域の方に広げていきたいと考える中での資料代として計上している。人件費については、避難訓練やワークショップを実施する中でのボランティアを想定しており、団体の構成員ではない。</p>
<p>委員</p>	<p>バッチによる可視化ということであったが、バッチを配ることが可視化につながるのか疑問に思った。また、今回の事業計画にあたり、参考にした他の自治体があるのか、さらには成功例などがあれば伺いたい。</p>
<p>提案団体</p>	<p>我々としては、昨年、缶バッチを作成し、市の方でもヘルプカードを配り始めたところであり、それらを一つにまとめた、たすけてパスポートを考案した。それを必要経費に計上するよりは、発達障害を持った方は、助けてという表現力が弱いので、それをきちんと持ち、見せられるようにしていきたい。バッチについては、それを持っている人に声かけができるようにということでも可視化を考えたところである。アンケート調査をする中で、それらが大事だとの結論に至った。また、今回のプロジェクトは、助ける側と助けられる側両者が協働で取り組むものであり、その広がりのための可視化とした。バッチを配ることを通じて、一人一人に伝えあうことが大事だと考えているところである。</p> <p>参考事例では、神戸の方で、障害者側から発信している事例がある。自分たちは助けられる側ではなく、助ける側でもあるという取組である。また、ゆめ基金では、小中学校から市民までを巻き込みながら、障害者の意識を高めていく取組があり、今後、我々もそのような方向を目指していきたいと考えている。</p>
<p>提案団体 高齢福祉課</p>	<p>〔発表：映画ケアニンを鑑賞して、在宅医療・介護・看取りを語る会〕</p>
<p>委員</p>	<p>映画というものをきっかけにすることは、分かりやすいし、多くの人に参加してもらうには有効である。その後として、映画を見て終わりではなく、対話する場が重要と考えるが、その仕掛けのようなものがあるのか伺いたい。</p>

提案団体	映画は1時間44分である。その後に、中学校区内の医者や事業者の方を交えての語る会を設けているが、全部で2時間半くらいが限度と考えている。話が煮詰まる機会がさらに必要ではと考え、別途7月と10月にも、映画を見てない方も含め、語る会を設けていく予定である。
委員	映画というのは有効な手段であるが、値段が高いものである。今後、社会福祉協議会などを交えて事業継続を図ってほしい。
提案団体	今回、中学校区で組織化が進めば、専門職の方が地域に入りやすくなっていくことに期待している。この事業をきっかけに、地域包括ケアづくりに貢献したいと考えている。
委員	広報はどのように考えているか。
提案団体	市の広報ツールにお願いするほか、水戸地区会でもフェイスブックを立ち上げたところである。また、様々な職種が活動展開している中で広報していくほか、医師会、薬剤師会などとも顔の見える関係を築いており、協力体制をつくっていきたいと考えている。
委員	映画というのは、どういう方に見てもらおうとよいと考えているか。
提案団体	これまでは、ケアマネジャーなどが見る会が多かったが、ぜひ、市民に見ていただきたいと考えている。
委員	映画は無料か。
提案団体	より多くの方に参加してもらいたいことから無料としている。
提案団体 農政課	〔発表：水戸の緑と野鳥の森整備事業〕
委員	本事業は、今回が3年目であり、持続可能な体制づくりが重要と考える。予算を見ると賃借料などハード面に係るものが依然として大きいですが、せっかく築き上げた環境を維持していく体制への見込みはあるのか伺いたい。
提案団体	ハード面はほぼ完成しつつあり、これからは、学習を通して、人を育てていくことにシフトしていきたいと考えている。しかしながら、定期的な下草刈りや間伐は必要であり、市に予算化できるよう協議をしているが、実現は難しいものである。一方で、新たな助成金を獲得できるよう検討しているところである。市内には学校林があり、手付かずのものが多くある。鳥の巣箱づくりなどを通じ、子どもたちが自然に親しむ機会をつくっていききたいと考えている。
委員	私も以前訪問したことがあり、自然豊かなところで、子どもたちも大いに楽しめるものであった。ぜひ活動を継続していただきたい。昆虫採取については、キャッチアンドリリースとしているのか。
提案団体	そのようにはしていない。現在、スコープひとつ入れると、カブトムシ

	<p>の幼虫がたくさんとれる状態である。昆虫の森づくりは、費用のかかるものではないので、つくっていききたいと考えている。</p>
委員	<p>外来種を入れないなど、学芸員の方を交えながら進めていただきたい。現地には、お手洗いの場所はあるのか。</p>
提案団体	<p>近くに会社をやっている者がおり、そこを借りている。</p>
委員	<p>ぜひ、周辺地域の方ばかりでなく、市民みんなが楽しめる場となることを期待している。</p>
提案団体 農政課	<p>【発表：親子で楽しむ森あそび】</p>
委員	<p>定員は決めているのか。</p>
提案団体	<p>定員は決めていない。小さい子ども連れだと、その日の体調や気分などの変化あるため、来られたら来てくださいという形にしている。</p>
委員	<p>外遊びで心配なのは安全面であるが、当事業の場合は親が同伴なので安心だと思った。森林公園のイベントとしての協働事業に発展できるとよいと感じた。</p>
委員	<p>人件費や諸謝金が計上されているが、対象は団体の構成員なのかお聞きしたい。また、昨年までは単独で活動していたが、今回協働で実施する意義を森林公園側からお聞きしたい。</p>
提案団体	<p>人件費や諸謝金の対象は、構成員以外としている。例えば、昨年まで参加していて、4月から子どもが幼稚園に入る方がいる。その方は、保育士の免許を持っており、今後は森っこを応援していきたいという話をいただいている。また今後、市の協力を得ながら協力者を増やしていきたいと考えている。</p>
農政課	<p>日本の子どものうつ傾向は世界一とも聞いており、心身ともに健全な子どもたちを育てるには、自然の中で活動することが大事だと認識している。森林公園の活動指標の一つに来園者数があるが、メインは小学生、幼稚園生の親子である。森っこさんはそれより低い年齢層であり、新たな客層の開拓につながるものと期待しており、最大限協力していきたい。</p>
委員	<p>開催日は木曜日ということで、主に母親が対象だと感じた。将来的には、父親にも子育てに参加してほしいことから、流動的な日程を組んでいただきたいと思った。</p>
提案団体	<p>同感である。おじいちゃん、おばあちゃんにも活動に巻き込みたいと考えている。</p>

<p>提案団体 農業技術センター</p>	<p>〔発表：茨城総合物産音楽フェスティバル2019〕</p>
<p>委員</p>	<p>今回は3回目ということだが、わくわくプロジェクトとして初めての応募である。収支計画では、今回の50万円の部分はこれまでどのようにしていたのか。また、音楽と飲食は切り離して考えてよいのか。</p>
<p>提案団体</p>	<p>これまで、ライブ活動などを通じ、自主運営を行ってきた。音楽と飲食については、収支では別にしてはいるが、フェスというのは通常音楽と飲食は一体であり、ある程度の一体性は必要と考えている。当フェスティバルでは、誰でも入れる飲食エリアを設けている。県内の方でも地元の名店を知らない方がたくさんいる。当フェスティバルをきっかけに、地元のよさを体感していただき、再度お店に戻ってもらえるような仕掛けにしていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>今回は協働事業ということで、どのような違いが生まれるのか。</p>
<p>提案団体</p>	<p>水戸美味登録店からの新たなつながりが期待できる。新たに出店いただくお店には、私がライブを行い、お客さんを増やしていくといったことをより深くできたらいいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>1万人規模とのことだが、県外の方はどのくらいか。公共交通機関などとの連携はあるのか。</p>
<p>提案団体</p>	<p>ライブについては、半数以上が県外の方である。ホテルには以前、オリジナルプランを作成いただいたことがある。フェス来場者には、写真やサインなどを翌朝チェックアウトの時に届けるといったものである。</p>
<p>委員</p>	<p>駐車場対策はどうしているのか。</p>
<p>提案団体</p>	<p>会場は公園なので、駐車場の占有ができない。各種機関に協力いただき、好文カフェの裏手や消防学校跡地などをお借りしているが、すべてを満たすものではないため、公共交通機関の利用を案内している。</p>
<p>委員</p>	<p>本事業に対する㈱ブックエースの関りはどのようなものか。</p>
<p>提案団体</p>	<p>本の販売だけでなく、CDの販売やレンタルなど音楽事業とも関係していることから、出会った次第である。副実行委員長として、事務や広報、クラウドファンディング、各企業への協賛お願いなどの形で関わっている。</p>